

徳島小松島港港湾脱炭素化推進計画 【概要版】

令和6年11月
徳島県(徳島小松島港港湾管理者)

徳島小松島港港湾脱炭素化推進計画の基本的な方針

【徳島小松島港港湾脱炭素化推進計画の目的】

本計画は、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や、水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図るカーボンニュートラルポート(CNP)の形成を推進し、CNPの形成を通じて、臨海部産業の競争力や脱炭素社会の実現に貢献することを目指し策定されたものである。

【取組方針】

(1) 温室効果ガス排出量の削減に関する取組

① グリーン電力の活用

- ・ 風力、太陽光、バイオマス（生物資源）などの自然エネルギーにより発電されたグリーン電力の活用を推進する。

② 太陽光発電の導入

- ・ 徳島県は全国的にも日照時間が長いという特徴があることから、工場、事務所等の照明設備や製造機械等に太陽光発電の導入を進める。

③ 低・脱炭素化

○ 製造機械

- ・ 石炭・重油等からLNGへの燃料転換を進めることにより、CO2排出量の削減を推進するとともに、水素・アンモニア等の次世代エネルギーへの転換を図る。

○ 荷役機械、車両

- ・ 技術開発等の動向を注視しつつ、更新等に合わせた低・脱炭素化、燃料電池化、水素エンジンの導入等について検討を進める。

○ 船舶

- ・ 燃料(LNG・アンモニア・エタノール等)の低・脱炭素化、省エネ技術の導入等について、更新時期や技術開発の動向を注視しつつ、検討を進める。

(2) 港湾・臨海部の脱炭素化に貢献する取組

① バイオマス発電所

- ・ 津田地区に立地するバイオマス発電所で使用する発電用木材チップの受入環境を整備する。

【対象範囲】

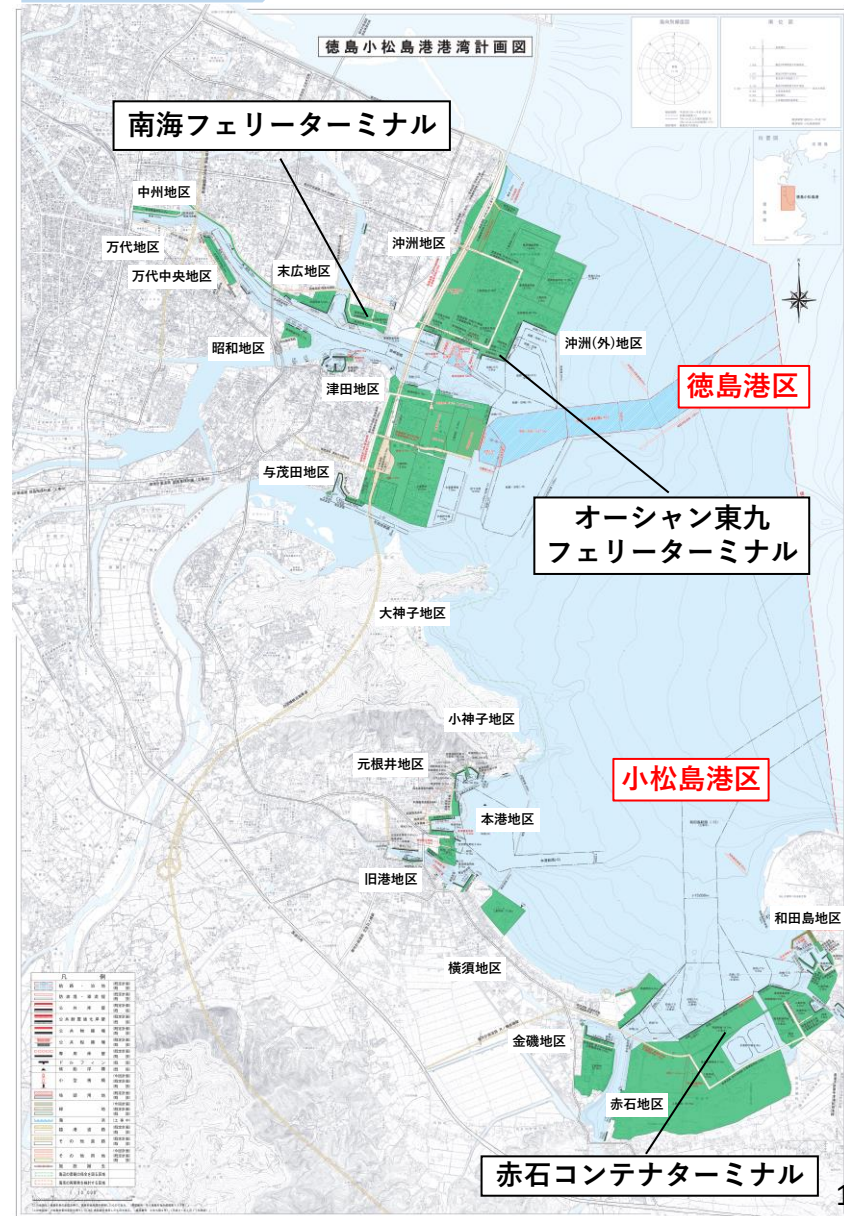


図1 徳島小松島港港湾脱炭素化推進計画の対象範囲

徳島小松島港港湾脱炭素化推進計画の目標

【計画の目標】

表1 計画の目標

KPI (重要達成度指標)	具体的な数値目標		
	短期(2025年度)	中期(2030年度)	長期(2050年)
KPI1 CO2排出量	約74,400t/年 (2013年度比20%減)	約46,500t/年 (2013年度比50%減)	実質0t/年
KPI2 低・脱炭素型 荷役機械導入率	30%	40%	100%

※水素・アンモニア等の取扱貨物量及びブルーインフラの保全・再生・創出に係る数値目標については、今後の方針が決まり次第、必要に応じてKPIを追加する。

【温室効果ガス排出量の推計】

表2 CO2排出量の推計

区分	CO2排出量	
	2013年度	2021年度
ターミナル内	1,532t	1,373t
ターミナルを出入りする船舶・車両	11,505t	10,463t
ターミナル外	79,933t	66,696t
合計	約93,000t	約79,000t

【温室効果ガス排出量の削減目標】

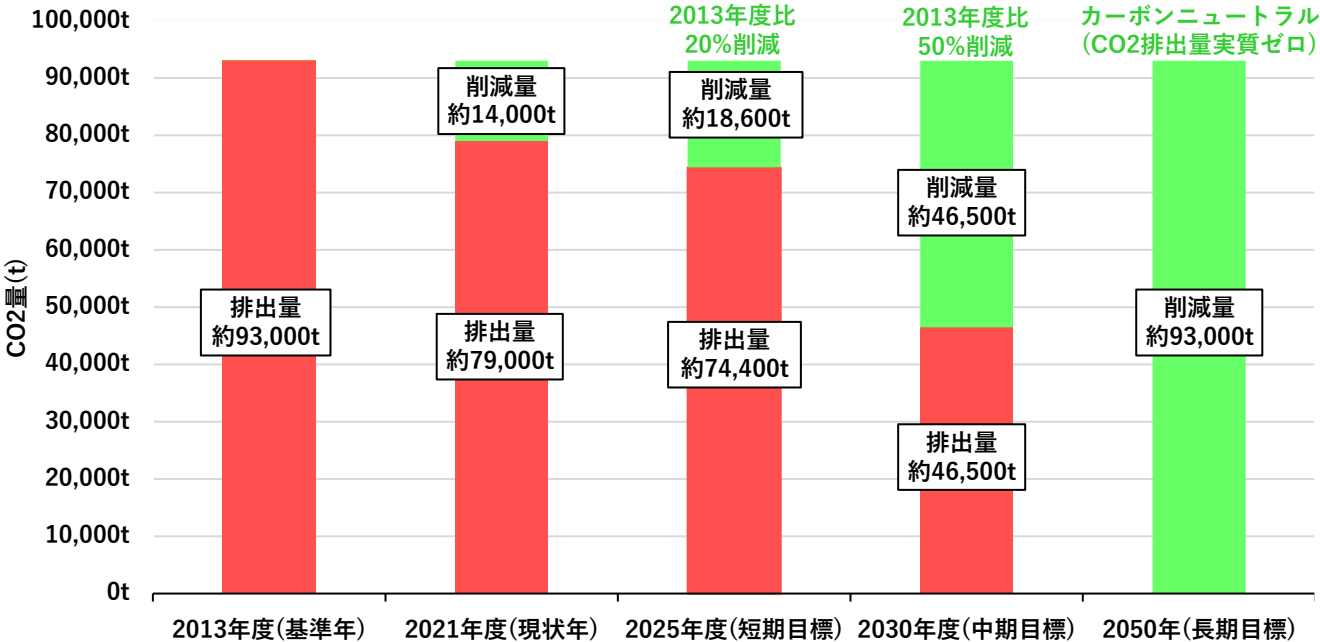


図2 CO2排出量の削減目標

港湾脱炭素化促進事業及びその実施主体

【公共ターミナル内】

➤ オーシャントランス(株)

- ・ターミナル照明のLED化

【ターミナル外】

➤ リンテック(株)

- ・太陽光発電の導入
- ・グリーン電力の購入
- ・製造機械のLNGへの燃料転換

➤ エヌ・アンド・イー(株)

- ・工場全体のLED化

➤ 四国ガス(株)

- ・管理棟照明等のLED化

➤ (株)日新

- ・工場建屋のLED化
- ・工場で発生する蒸気を利用した機器の導入
- ・フォークリフトの省エネ化(燃費改善)

南海フェリーターミナル

オーシャン東九フェリーターミナル

■：対象範囲

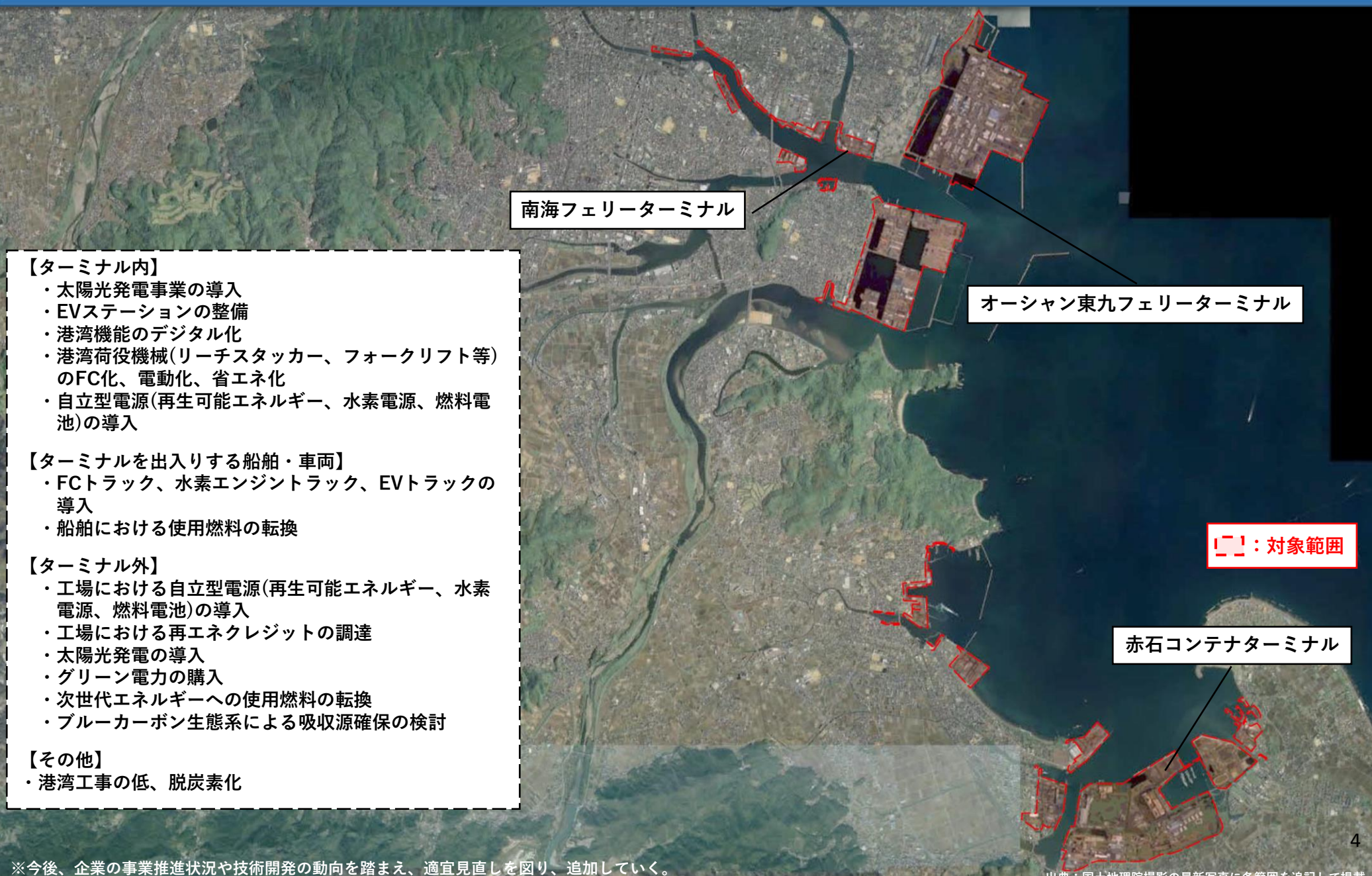
赤石コンテナターミナル

港湾脱炭素化促進事業によるCO2排出量の削減効果

項目	ターミナル内	船舶・車両	ターミナル外	合計
①：CO2排出量(2013年度)	1,532t	11,505t	79,933t	約93,000t
②：CO2排出量(2021年度)	1,373t	10,463t	66,696t	約79,000t
③：2021年度からのCO2削減量	0t	0t	2,471t	約2,500t
④：2013年度からのCO2削減量(①-②+③)	159t	1,042t	15,708t	約16,900t
⑤：削減率(④/①)	約10%	約9%	約20%	約18%

※今後、企業の事業推進状況や技術開発の動向を踏まえ、適宜見直しを図り、追加していく。

港湾における脱炭素化の促進に資する将来の構想



【ターミナル内】

- ・太陽光発電事業の導入
- ・EVステーションの整備
- ・港湾機能のデジタル化
- ・港湾荷役機械(リーチスタッカー、フォークリフト等)のFC化、電動化、省エネ化
- ・自立型電源(再生可能エネルギー、水素電源、燃料電池)の導入

【ターミナルを出入りする船舶・車両】

- ・FCトラック、水素エンジントラック、EVトラックの導入
- ・船舶における使用燃料の転換

【ターミナル外】

- ・工場における自立型電源(再生可能エネルギー、水素電源、燃料電池)の導入
- ・工場における再エネクレジットの調達
- ・太陽光発電の導入
- ・グリーン電力の購入
- ・次世代エネルギーへの使用燃料の転換
- ・ブルーカーボン生態系による吸収源確保の検討

【その他】

- ・港湾工事の低、脱炭素化

対象範囲

赤石コンテナターミナル

南海フェリーターミナル

オーシャン東九フェリーターミナル